

久保・長江中学校区の学校再編に係る  
育友会・P T A役員と教育委員会との第7回意見交換会議事録

- 1 日 時 令和5年8月18日（金） 19：00～19：40
- 2 場 所 尾道市役所 4階 委員会室
- 3 出席者 久保小学校 育友会役員 2名、長江小学校 育友会役員 5名  
土堂小学校 育友会役員 2名、山波小学校 育友会役員 2名  
久保中学校 P T A役員 1名、長江中学校 育友会役員 1名  
教育委員会事務局 12名

宮本教育長、川鯨教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長  
三浦学校経営企画課長、石本教育指導課長、安保学校経営企画課長補佐  
石川庶務課管理係長、宮崎学校経営企画課企画振興係長、玉里庶務課管理係主任  
才谷教育指導課指導主事、岡田庶務課管理係主任

4 進 行

担 当	内 容
教育委員会事務局（司会）	<p>19：00～</p> <p>1 開会</p> <p>4小2中育友会・P T A役員の皆様におかれましては、本日、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから、久保・長江中学校区の学校再編に係る育友会・P T A役員と教育委員会との第7回意見交換会を開催いたします。本日の終了時刻は、報告と説明の時間を合わせて20時を考えております。よろしくお願います。また、第6回に引き続き、Z o o mによる配信を行っておりますことをご了承ください。まず、はじめに、宮本佳宏教育長がご挨拶申し上げます。</p>
宮本教育長	<p>2 挨拶</p> <p>○教育長挨拶</p> <p>皆様こんばんは。公私ともに大変お忙しい中、この意見交換会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。ご承知のとおり、7月24日から8月2日までの6日間、関係する6つの学校ごとに保護者説明会を開催させていただきまして、いろいろとご意見をいただいたところでございます。また、8月7日から8月10日までの4日間、小学校区ごとに地域説明会を開催させていただきまして、地域の皆様からもご意見を賜りました。本日の意見交換会は、初めに教育委員会から何点かご説明をさせていただいた後、今回の学校再編に係る教育委員会としての判断をお伝えさせていただき、理由を説明させていただき</p>

<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>たいと思います。その上で、皆様からご意見やご質問を頂戴できればと思っております。簡単ではございますが、初めの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3 協議</p> <p>続いて、3の報告・説明に移ります。事務局から3点ほど報告事項がありますのでお願いいたします。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>皆さんこんばんは。まず1点ですね。前回の意見交換会の際にご質問がありました閉校記念事業の補助金交付要綱を資料としてお付けしておりますので、こういったものが対象になるのかというご質問であったと思いますので、ちょっと説明をさせてください。</p> <p>要綱と書かれているのがあると思いますけども。まず、第4条がどういったものが経費になるかということが示されておりまして、「第4条、補助金の交付対象となる経費は次に掲げる経費とする。」ということで、1つ目が、閉校となる学校の記念誌の発行に要する経費、そして閉校となる学校の記念碑の建立に要する経費、そして閉校式を行うために必要な経費、前3号に掲げるもののほか、記念事業に要する経費であって、市長が補助対象経費として適当と認めた経費ということで、確認を行われました。統合もこの要綱に則って行われているわけですが、ちょっと過去の見てみますと、航空写真を撮影した費用でありますとか、閉校式典の案内状でありますとか、そういった必要経費に使われているようでございます。それから、裏の方に行きまして、次に掲げる経費は補助対象経費としないと第2項にありますけども、まず1つ目が、「補助対象団体が支出したことが明確に確認できない経費」、「前号に掲げるもののほか、補助対象事業に直接関係のない経費および市長が社会通念上適正でないと認めた経費」ちょっと抽象的なんですけどもそういう表現をしております。いくら補助が出るのかというところが第5条でありますけれども、ちょっと読み上げますが、「補助金額は、補助対象経費の2分の1以内の額とする。ただし、地域の小中学校が同時期に統合する場合で、市長が必要と認めた場合は、補助対象経費の4分の3以内の額とする。」今回の場合は、この4分の3というところに該当をいたします。第2項、「前項の規定にかかわらず補助金、補助金限度額は次に掲げる額とし、予算の範囲内で決定する。（2）が当てはまります。小中学校が同時期に統合する場合、1校当たり150万ということで、仮に200万円必要経費として使われたという場合は、4分の3の150万円が上限ですから、200万円使用した場合は1</p>

	50万円補助が出るということになります。ちょっと簡単な説明なんですけども、もしご質問があればお聞きしたいと思います。
長江小学校育友 会役員	すいません。決算に関しては、必要なんですか。
三浦学校経営企 画課長	事業が終わった段階で、ご提出いただくようになっております。
長江小学校育友 会役員	それは教育委員会に対してですか。
三浦学校経営企 画課長	教育委員会にです。
長江小学校育友 会役員	第4条の第3号にある閉校式を行うために必要な経費、仮にですね、この後に閉校パーティーを開きました。妥当なんですか。
三浦学校経営企 画課長	ちょっと過去の見てみますと、飲食に関わる費用がございません。
長江小学校育友 会役員	過去はないんですけど、その中に市長がいいよと言えばOKだよって話じゃないですか。もう、杓子定規な話ではなくて、言ってもらえる話ですか。
三浦学校経営企 画課長	ちょっとこの場でご回答するのは、なかなか難しいですね。
川鱈教育総務部 長	過去はですね、お断りしています。やはり飲食は、駄目という整理をしています。
長江小学校育友 会役員	補助金が出ている中で、それは適當ではないよと言われるかもしれないんですけど、どこの学校も100年を超える中で、多くの携わりがあったと思うんです。そういう方をお招きして、軽く、人数も多いですから軽い形にはなるんですけど、そんな中でお招きをした人に閉校式で、会費を頂戴って言うのもおかしい話で、であればそれは適當と捉えていただけないものかなと思いましたので。

川鱒教育総務部長	<p>やはりこれ市の補助金なんですよ。ですから閉校式だから、特別にということにはなかなかならないので、これは表に出ますので補助金の第10条見てもらえば分かりますように、結果報告ということで収支報告そういったものを全部提出していただくという形なので。従前は、事前にこういうことに使いたいんだよっていうことを、十分打ち合わせした上で、どれが出るのか、対象になるのかっていうのを打ち合わせしながら、ある意味十分、打ち合わせして、必ず出るような感じというか、そういうところも含めて事前に打ち合わせして出していくという方法を今までとってきています。</p>
長江小学校育友会役員	<p>閉校ですので、学校に携わる人の中に地域も関わってくると思うんですけど、そういった方々にも、対象として考えていいのですか。すみません。今ので、分かりますか。難しいですか。言葉足らずだったらもう1回言いますが。すみません。閉校に伴って地域の方にも声をかけるようになります。そういった中で式典とかいろんなことに係る部分で学校関係者の一つとして、地域の方々にもそういった予算として使っても大丈夫ですか。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>閉校はやっぱり、地域に根ざした学校で、今まで来られてますので、閉校事業の委員会ですか、準備組織にも地域の方々に入っていただければと思いますし、やっぱり地域の方の思いを聞きながら、当然、今の飲食は難しいですけど、いろんな意味で、地域の方には関わっていただきたい。</p>
長江小学校育友会役員	<p>記念品はOKでいいですね。それでしたら。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>はい。</p>
長江小学校育友会役員	<p>分かりました。</p>
教育委員会事務局（司会）	<p>他になければ次の報告に移りたいと思います。</p>
石川庶務課管理	<p>続いての連絡事項を、協議事項を申し上げます。資料の中にお配りし</p>

係長	<p>ておりますが、この第3回保護者説明会を7月24日から8月2日まで行ってまいりました。その説明会の中で、一つ質問事項、そして配付要望があったものがありまして、何かと申し上げますと、資料2枚ほどめくっていただきますと、統合小学校整備時というようなことでスケジュール表と図面の載っているページがあると思います。こちらの質問事項といたしましては、当然、最初校舎を建てる段階があります。その後、長江に統合小学校を造る場合には、屋内運動場の整備の時期もあるということで、各時期で子供たちがどこで学んで、どこが工事エリアとして使われているのかというのを分かるような資料が欲しいというような要望がございました。確かに、そういう今までの資料の中にも付いていないものがありまして、この度ですね、皆様の方へ今日こうやって、役員といたしますか、この意見交換会で配ることを周知させていただき、順次間に合う学校、間に合わない学校がありますが、登校日ないし、直近の、学校へ子供たちが来る時に、子供たちを通じて配付したいというものです。</p> <p>例えば今、開いている長江中学校へ小学校を造る場合でありますと①番、建物を建てているときにはポツポツ水玉のところは工事エリアとなってグラウンドと体育館を使いますよ、とか。そして、②番、校舎が造り終えた後、子供たちは校舎へ動きますが、体育館のところは体育館を解体し、プールを整備するような工事をして水玉のところは工事エリアになりますが、学校は運用していきますよと。そして、③番が完成形というようなことで、図面の方でお配りして、皆様に周知をしたいというようなこともございます。</p> <p>確かに、今後のことを全保護者の方にも知っていただく必要もあると思ひまして、このたび配付を予定しておりますので、そのことについて今日共有し、何かご意見があればいただこうということで、お配りしております。以上で説明を終わります。</p>
教育委員会事務局（司会）	<p>このことについて、質問等がございましたでしょうか。なければ、続いて久保・長江中学校区の学校再編に係るこれまでの経緯について、ご説明させていただきます。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>それでは失礼します。前回の第6回意見交換会以降に開催しました保護者説明会、地域説明会の状況につきまして、お手元にこういう一覧があると思うんですけども。久保・長江中学校校区の学校再編に係るこれまでの経緯一覧というものをご覧ください。</p> <p>まず、その中に縦2に保護者説明会という欄がありますが、その③</p>

7月24日から8月2日まで関係する6つの学校ごとに開催をいたしました。参加していただいた保護者の方の人数は、資料に記載のとおりです。

それから、その下の縦3の地域説明会というところですが、8月7日からそれから8月10日まで小学校区ごとに開催をいたしました。参加いただいた地域の方の人数は資料に記載のとおりです。

これまで、保護者との意見交換会や説明会、それから地域説明会を合わせて延べ32回の説明会を開催しておりますが、これまでの保護者説明会でいただいた代表的なご意見を申し上げます。

まず、久保小学校では、保護者には早く環境を整えてもらいたいという賛成意見が多い。地域の声よりも、保護者の声を大切にしてもらいたい。長江小学校では、これまで何年も学校再編の話をしてきた。早期の学校再編を行ってほしい。山波小学校では、山波小学校が疎外感のないように進めてもらいたい。久保中学校では、工事中の防音対策や山波地区から通学する生徒へのバス通学補助について見直しをお願いしたい。長江中学校では、保護者には教育委員会に一任したい旨を伝え、了承してもらっている。保護者の総意として教育委員会の再編案に賛成である。といったように、教育委員会の再編案に賛成する趣旨のご意見をいただきました。また、通学の安全確保を求めのご意見が複数の学校の保護者から出されたほか、新しい学校についての具体的な話を早くしたい。開校に向けての準備や学校間での交流などが子供たちや教職員の負担にならないように配慮してほしい。これからの教育に対応した新しい施設へ期待するといったご意見もいただきました。土堂小学校では、耐震化をして現地での存続を希望する。街づくりの観点からも土堂小学校は残すべきといった再編案に反対するご意見をいただきました。

次に、これまでの地域説明会でいただいた代表的なご意見ですが、久保小学校区、長江小学校区、山波小学校区では再編案に賛同するご意見や、これまでも地域の協力があって、学校教育活動がなされてきた。再編後も、地域と学校の繋がりを大切にしてほしい。地域を愛する子供を育ててほしい。といったご要望いただきました。また、長江小学校区では、64億円をかけて校舎を新築するのではなく、既存の校舎を活用すべきであるのご意見もいただきました。土堂小学校区では、耐震化をして現地での存続を希望する。また、街づくりの観点から、土堂小学校を残すべきなど、再編案に反対するご意見をいただきました。その一方で、学校は無くなっても地域は無くならない。子供たちが来て良かったと言える学校を創って欲しい。教育委員会が提案した小中一貫教育

<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>や教育内容に賛成する、と再編案に賛成するご意見もいただきました。        以上、保護者説明会、地域説明会でいただきましたご意見を紹介させていただきます。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>続いて、学校再編について、教育長から教育委員会としての判断を述べさせていただきます。</p> <p>結論から申し上げます。        令和7年4月1日久保小学校、長江小学校、土堂小学校を統合し、統合小学校を現長江中学校敷地に設置する。令和7年4月1日久保中学校、長江中学校を統合し、統合中学校を現久保中学校敷地に設置する。統合小学校、統合中学校の新校舎を令和9年4月1日から使用する。</p> <p>以上、これまでお示ししていた計画どおり、教育委員会として学校再編を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>この結論に至った理由について説明いたします。        教育委員会はこれまで30回以上にわたり、保護者説明会、地域説明会等を行い、学校再編案に理解をいただけるよう努めてまいりました。</p> <p>説明会におきまして、土堂小学校保護者の一部、及び土堂地域の一部は、学校再編案に反対で、街づくりなどの観点から、耐震化して、土堂小学校の存続を希望する意見をいただきました。その一方で、土堂小学校の敷地は、土砂災害警戒区域に指定され、土砂災害のリスクがあるため、教育委員会の提案した学校再編案に賛成する声や、子供たちがこの学校で学んで良かったと思える学校を創るという私の決意に賛同する声もいただきました。久保小学校、長江小学校、山波小学校、久保中学校、長江中学校の保護者や地域におきましては、児童生徒数の減少を踏まえ、PTAの総意として教育委員会の学校再編案に賛成であるという意見や、早く学校再編を決定し、開校に向けて具体的な準備を始めてほしいという意見がございました。また、教育内容につきましては、地域を大切にし、尾道の歴史や文化、芸術等を生かした尾道ならではの教育に期待する声も多くいただきました。保護者説明会や地域説明会の参加者が少なかったことにつきましては、いろいろと事情があって参加が難しかったのではないかと考えております。説明会に参加できなかった方も、様々なご心配やご意見をお持ちであろうと思いますが、少子化による児童生徒数の減少を踏まえ、適正規模の教育環境という観点から、教育委員会の学校再編案に、一定の理解をいただいているものと捉えております。</p> <p>なお、学校再編によって、新しく創ろうとしている学校は、特別な学</p>

	<p>校ではありません。地域を大切に、尾道の良さを生かした、尾道ならではの教育内容を大切にしている学校でございます。</p> <p>ご心配の多かった通学路の安全対策等につきましては、今後も保護者や地域の意見を踏まえて、子供たちにとって安全安心なものとなるよう、教育委員会として、しっかり取り組んでまいります。</p> <p>新校舎建築費用につきまして、あまりにも高額すぎるのではないかとのご意見をいただいていることから、建築費用の圧縮を図るため、校舎設計の全体的な見直しを担当に指示し、既に検討を始めているところでございます。</p> <p>以上のような状況を踏まえまして、一部には学校再編案に反対の声もございますが、子供たちの命を守るということを最優先に考え、児童生徒の安全の確保、児童生徒が切磋琢磨できる適正規模の教育環境という観点から、教育委員会として、計画どおり学校再編を進める必要があると判断いたしました。</p> <p>今後は、市民の代表である議会の皆様の判断を仰ぎたい。そのように考えております。終わりに、仮校舎における子供たちの学校生活は、3年にも及んでおります。もうこれ以上引き延ばすのは忍びありません。子供たちが新しい学校、新しい校舎で、いきいきと勉強やスポーツなどに励み、この学校で学んで良かったと思える学校を創っていききたい。これが教育長として私の強い決意でございます。私からは以上でございます。</p>
教育委員会事務局（司会）	<p>このことについてご意見ご質問があれば伺ってまいります。いかがでしょうか。</p>
長江小学校育友会役員	<p>長江小学校です。先程、お話の中でPTAの総意ということが出てきたんですが、実は、長江小学校ではそういうアンケートないし総意として出せるようなものは、用意できなかったもので、できましたらそのお言葉は、使わないでいただきたい。よろしく願いいたします。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>わかりました。長江小さんとしてはそういうことで、我々も認識しておりますので。</p>
長江中学校PTA役員	<p>すいません。一点だけなんですけども、通学路の件がやっぱり皆さん懸念されている点だと思うんですけども。えっと、長江通り拡張工事があるんですけども。実は過去の長江中学校育友会の反対によって拡張工事が進んでないところがあることも、ご存知だと思うん</p>

	<p>です。</p> <p>この今の図面でいうと、拡張工事をするに当たって、駐車場などとなっているところがかかると思うんですけども。これは今後、拡張工事を見据えた上でこの図面になっておるのかどうなのかなってというのはちょっと気になったんです。駐車場が、減ってしまうんじゃないのかなとか。ちょっとそこら辺も考えられて詰めになっているのかなってところで、今後多分変わっていくと思うんですけども、そこら辺も今後新しい合併小学校はできるのであるならば、その時に協議がまた必要になってくると思うので、そこは解決しておくべき問題かなと思っております。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>お答えさせていただきます。設計においては当然、街路事業の予定範囲というのは考慮して、設計を進めていくことになりますので、駐車場の部分をどうカバーしていくかとか、そういった部分の将来開発されたときですね。そういった部分は、また今後の検討になるかと思うんですが、その部分については、把握した上で、進めているということでございます。</p>
<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>他に質問があれば。どうぞ。</p>
<p>長江小学校育友会役員</p>	<p>先程、教育長のお話の中で、予算の関係で見直しを含めてという言葉がありましたけど、一回造ったら、30年から50年単位の建物で、建築前にケチる話をしていただきたくない、当然限られた予算なんで、それは必要なことだと思います。それも議会の方でやっていただければいいです。我々にとっては子供たちが通う上で必要最低限でなく、せっかく通うならば素晴らしい施設の中で通わせてやりたいと思いますので、そこに関しましては、できるだけ良い状態のものを造っていただくようお願いしたいと思います。</p>
<p>山波小学校育友会役員</p>	<p>山波小学校です。今、長江小学校さん言われたんですけど、いくらでもお金を使ってでもっていうわけにいかないと思うんです。お金には、やっぱり限りがあると思うんで、そこはどこから捻出をしていくのかってというのは、ちょっと我々尾道市民として、学校としてじゃなしに、一市民としてちょっと不安なところがあるんです。そういったところは、どういふふうにお考えになっているのか教えていただきたいです。</p>

川鯨教育総務部長	<p>今ですね、併行していろいろ地域、今日も、昼には議員説明会を開催しました。やはり64億円というお金に対してですね。市全体の予算に比べてどうなのかと590数億円の予算ですよ。その内の60何億ってというのは過大ではないかというご意見もあります。そういった中で我々としてはですね、子供たちのために最大限良い施設を造りたいという教育委員会としての希望はあります。一方では、いわゆる新しい学校だけではなくて、市域に全体に今学校たくさんありますよね。そういった学校が、今後どんどん老朽化も40年以上50年経つ学校がほとんどです。今後子供の数も減っていくという中で、やはり今日もご意見いただいたんですけども、学校の統廃合というのはどうしても今後続いていくだろうと、そういった部分についても、きちっと意を払って欲しいというご意見が、市全体としての議員さんの意見としてありました。ですから、我々もそういうところも配慮をしつつ、できる限りの学校を創っていきたいという意思は持ってますし、言われたとおりに、無駄遣いはすることなく、市全体のことも考えながら、最大限の努力はさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
山波小学校育友会役員	<p>ありがとうございます。尾道市って、既に福山市の3倍の1人当たりの借金があるそうなんです。今後そういった借金の多い尾道市に子供たちが大人になって尾道に住んでもらえるんであろうかっていうのが心配であります。どんどん人が出ていくんではなかろうかと思っているんですけど、その辺の考えはいかがでしょうか。</p>
川鯨教育総務部長	<p>全国的な話なんですけれども、やはり少子化、特に若い層の方々が転出超過になっているとかいうことは、いつも市議会の中で話題になっている。そういった中で、我々教育委員会としても魅力ある教育、やはりそういったものを目指していきたい。そう思ってます。特に学校施設でいえば、老朽化が進んで皆さんにご迷惑かけてますけれども、トイレの問題とか、様々な問題はあると思うんですよ。そういったものにもきちっと意を払ってくれという意見もはっきり言われました。やっぱり新しい学校64億これ高いじゃないかと。それよりも目の前のトイレ直してくれ、とかそういった市P連のご要望もたくさんいただいておりますので、我々はそういったところでですね、できるだけ64億円をケチるわけではなくて、いろいろ見直しをする中で適正に使っていく、浮いた分という言い方はちょっとあれなんですけれども、できるだけその部分をですね。そういったいわゆる足元の環境整備に使っていききたい。そういうふうに関ろんなところでご答弁を差し上げている、と</p>

山波小学校育友 会役員	<p>ということでございます。</p> <p>ありがとうございます。さらには17億円の図書館。これって教育の現場に役に立つのかどうなのかなって思うんです。既に3億円使った図書館も全然使われてないような気がするんですけど、その辺はどういった考えがありますか。さらに17億円使うのであれば今言われたように、トイレとか既存の学校を綺麗にしていくお金に使われた方がいいんじゃないかなって思うんです。いかがでしょうか。</p>
川鱈学校教育部 長	<p>大学図書館ではないですかね。17億円というのは、やはり大学も、蔵書数が非常にもう入らないとかですね、今後の大学の生き残り戦略とか、あそこも非常に古いという状況もございます。図書館といっても大学図書館の場合は、教育委員会の管轄外なので、なかなか高いとか安いとかそういうことは言われないんですけども、市全体の中で、やはり財政計画を立てながらですね、きちっと我々の教育費についても、今、一生懸命予算を取りに行っているというのが現状です。ですから、無駄遣いは当然しないですし、今後、先程言ったように老朽化している。それで、今もう現在老朽化していますし、今後40年、50年の建物をどうしていくかという課題に対しても、きちっと計画をしていく。我々今後まずは、新しい学校は、今後の学校の再編計画、更新計画のトップバッターだという位置付けでやっていますので、学校を創ると同時に、これを各他の地域にも広げていきたい。そういうふうに思っています。</p>
山波小学校育友 会役員	<p>ありがとうございます。20億円が国からの助成金で出るんですかね。残りが、尾道市が負担ということなんで、我々の血税を大事に使っていただけたらと思います。以上です。ありがとうございます。</p>
教育委員会事務 局（司会）	<p>他に質問がある方は挙手をお願いします。</p>
土堂小学校育友 会役員	<p>土堂小学校の保護者の皆さんは、さっき教育長さんは一部の保護者の方が反対されているっておっしゃったんですけど。決して一部ではなくって、まだ半数以上かどうかはちょっと、まだ最近アンケートとってないので分からないんですけど、数ヶ月前の時点では、半数以上の保護者の方は、まだ納得できていないという状況だったんですね。なので特に通学路に対する不安は、これはやっぱり子供の命を守るっていう</p>

ところから、毎日のことなのでとてもやっぱり心配なんですね、送り出して帰ってくるまで、安全にちゃんと子供が帰ってくるかっていうのは本当に心配だと思うんです。やっぱりなるべくなら、歩いて通学させたい。あまりにも遠くてしんどいってなれば、バスも考えますけど、やっぱり小学生で、何かずっとバスで登下校っていうのもっていう方もいらっしゃるんで、歩かれる方もやっぱりいると思います。その点で、不安がやっぱりまだあるのと、引越し回数が多いことでの子供の負担、その心配がやはり拭えてない保護者の方がいらっしゃるんで、今日、さっき教育長さんからお話をいただいて、「はい、分かりました。」って言うのはなかなかちょっと言いづらいというか、私もなんて言っているのか分からない状況で。そうですね。これはもう決定されたということで、次の議会で決まればもう進んでいくっていうことですよ。そういう、なんて言ったらいいのか、ちょっと分からないですけど。なんかちょっと「はい。分かりました。」っていうのはちょっと言えないなっているのが、今の心境です。

続いてすみません。その辺の不安な点を持っている保護者の方がいらっしゃるんで、その辺をやっぱり早く解決してほしいというか、そうですね、何か引越し回数が多いっていうのを安心させてほしいというのはちょっともう物理的に、この統合が決まってしまうたら、難しいと思うんですけど。すみません。一応そういう保護者の方がまだいらっしゃるっていうのは伝えさせてください。お願いします。

教育委員会事務局  
(司会)

他にご意見ご質問がございますでしょうか。

(挙手なし)

はい。それでは、質疑応答の方終了させていただきます。

教育委員会事務局  
(司会)

#### 4 閉会

次回の第8回意見交換会についてなんですが、日時場所については、改めて通知させていただこうと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で閉会いたします。育友会・PTA役員の皆様、本日はどうもありがとうございました。

19:40 終了